

平成30年度 第1回下川淵公民館運営推進委員会 結果報告

- 1 日時 平成30年7月9日(月) 午前10時00分～11時05分
- 2 会場 下川淵公民館会議室
- 3 出席者 須永委員、金井(英男)委員、関委員、新井委員、角田委員、久保田委員、清水委員、根岸委員、金井(俊夫)委員、宇田委員、宇多館長、石井主査、國定主任、笠原主事、名雪主任(15名)
- 4 欠席者 なし
- 5 傍聴者 0名
- 6 内容(進行:名雪)
 - (1) 宇多館長あいさつ
 - (2) 委嘱状交付(新任委員5名へ)
 - (3) 委員自己紹介
 - (4) 第1回委員会
 - ① 委員長、副委員長の選出
委員の互選により、委員長に関委員、副委員長に金井(俊夫)委員を選出。
 - ② 議事(議長:関委員長)
 - ア 平成30年度下川淵公民館主催事業について
別紙資料に基づき、宇多館長からの方針説明の後、笠原主事、石井主査、國定主任、名雪主任がそれぞれの担当する事業について説明を行った。
 - イ 下川淵地区コミュニティデザインについて
別紙資料に基づき、宇多館長がコミュニティデザインの説明を行った。
 - ウ その他
根岸委員から、持田十段の木刀と額などの地域の宝を後世に残すため、保存・展示する必要が提案され、今後自治会等と検討することになった。
金井(俊夫)委員から、地区団体会議の開始時間を早める意見が出され、会議参加者の実態にあわせて再検討することになった。

【主な意見】

- ◎ 平成30年度下川淵公民館主催事業について
 - ・下川淵地区は自主グループ活動が活発な地区であると思う。(関委員長)
 - ・男性会員をいかに増やしていくか、永明地区を参考に健康麻雀をやってみようかと思っている。横手わせだ緑地公園では、グラウンドゴルフとか多くの方がやっているの、みなさんの経験を地域に還元してもらいたい。(金井副委員長)
 - ・カルチャー教室のように月謝の高い利用はあるのか?(関委員長)
 - ・講師主体の営利目的では公民館は利用できない。講座から派生したグルー

プの場合、講師の謝礼は一定の基準がある。(宇多館長)

- ・インリーダー研修は何年生が多かったのか？(金井委員)
- ・3～6年生が偏りなく参加した。人気があり30人定員のところ37人のこどもが参加した。(笠原主事)
- ・ベビープログラムを11月に集中して行うのは何故か？(久保田委員)
- ・講師である子ども支援課が連続した4回で行うということと、合同で行う上川淵公民館・東公民館と日程を調整した結果である。(笠原主事)
- ・陶芸教室は人気があるようだが、2回実施することはできないのか？教室の周知はどのような手段で行っているのか？(関委員長)
- ・成形、色付け、仕上げと3つの工程があり、夏休みの日程の中で2回行うのは難しい。周知方法は公民館報の他、回覧チラシやホームページ、小学校へ依頼してこどもへのチラシ配布など行っている。(宇多館長)
- ・食育教室の講師を南高校にお願いして、地域とのつながりが出来るのは良い試みだと思う。南高校とのパイプを太くしてほしい。工科大学とも協同が出来ればなお良い。(金井副委員長)
- ・老人クラブ連合会との共催事業では、今年もいきいき健康教室でお世話になります。(宇田委員)
- ・まだ未定だが、視察研修を自治会長と一緒に計画して実施する。去年はとても興味深い所に行ったので、今年も期待している。(根岸委員)
- ・産業技術センター見学会は、定員は増やせないのか？(関委員長)
- ・実験室や機械見学は部屋が狭く、10人程度のグループで行うということで2グループ、20人定員とした。(名雪主任)
- ・ゲートキーパー学習会は15時から受付開始か？(久保田委員)
- ・学習会を開始ということである。早めに集まってもらいたい。(名雪主任)
- ・ぷちにんぎょう寄席はこれからもやるのか？(金井副委員長)
- ・地域の協力を得て継続的にやっていきたいと思っている。高校生や大学生にも出演してもらえると幅が広がる。(宇多館長)

◎ 下川淵地区コミュニティデザインについて

- ・カルタは下川淵地区の特色ある場所を取り上げている良い教材である。現在、奨励員が来年のブックレット発行に向けて努力している。地域の宝、地域の歴史を知ることが出来る良い本になると思う。(根岸委員)
- ・コミュニティデザインと聞いて、大きな将来の目標だと思ったが、実現可能な住民目線で良いと思う。(関委員長)
- ・コミュニティデザインは、基本的なテーマは共通で、各公民館の裁量でつくったもの。今後、ロビーに掲示したい。(宇多館長)